

野田市の具体的な防止対策は、大切な命を守れなかったこのような事件を二度と起こしてはならないとの強い決意により、他自治体の事件も、もしも我が市であったらどうするのかと検証するといった努力と思索と執念を持って作り込んでいか

れたことに納得した。

この視察をきっかけにして、子どもを守るシステムを構築できるように市長部局・教育委員会に対し、議会として働き掛けることが肝要である。

産業建設常任委員会

市内の商店街の現状と課題について

7月13日 市商工会

市内の商店街の現状と課題について、白岡市商工会から説明を受けた。



市内に9つある商店会では、これまで祭りを始めとする様々な事業を実施し、地域を盛り上げてきた。それら商店会で白岡市商店会連合会を組織し、白岡市商工会が事務局を担っている。

商店会の事業者においては、売上げが容易に伸長せず経費が増大するなど、厳しい経営環境が続いている。

商工会では、事業者への日々の巡回指導等で店

舗の確認や各商店会長への聞き取りを行い、事業者の状況把握や支援に努めるとともに、小規模店舗事業者に対する事業継続の支援を積極的に続けている。

一方で、住居と店舗がつながっている空き店舗の解消には、課題が浮き彫りになっている。当市の5年後、10年後の商店会を考えたとき、事業者の希望に寄り沿った将来構想を今から考えていくことの重要性を再認識した。

また、都市計画道路の開通に合わせて、新たなビジネスチャンスが期待されるが、既存店舗地区への人の流れが減少し、商店会の売上げの減少につながる可能性もある。商業系の用途地域の拡大や駐車場の整備が今後の検討課題になると推察される。

議会運営委員会

所沢市議会における議会改革の取組について

8月17日 埼玉県所沢市

議会運営委員会では、7月27日に議長から諮問のあった「白岡市議会の改革・



活性化に関する取組事項について」を推進するため、議会改革の先進市議会である所沢市議会を8月17日に視察した。

所沢市議会の改革の主な取組は、議会基本条例の制定、地方自治法第100条の2による議案の審査等に必要な専門的事項に係る調査の活用、議会事業評価・議会改革評価、閉会中の文書による質問、自由討議、参考人招致、附属機関の設置、予

算常任委員会の設置、オンライン会議システムの導入、市議会災害等対応マニュアル・議会機能継続計画の策定など多岐に及んでいる。現在は、議会基本条例の見直しや通年議会の導入に向けた協議・取組を行っている。

また、広聴・広報の取組として、議会報告会、政策討論会、高校生との意見交換会等の開催、市議会公式YouTubeチャンネルの開設、市議会だよりの充実にも力を入れ、市民に開かれたわかりやすい議会を目指して取り組んでいる。

所沢市議会のこれらの素晴らしい取組を参考に、市民に開かれた親しみのある白岡市議会を目指して、改革・活性化の取組を進めていきたい。